

[125]語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2544326>

出版情報：語文研究. 125, 2018-06-09. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▼平成二十九年年度 学位論文題目

学部

萩原恭次郎『死刑宣告』論

池田三咲

梶井基次郎論——「二重身」と「客観的視点」についての考察——

桑原幹治

横光利一初期作品における「死」

竹内遼

文鏡の発心および修行——『平家物語』諸本における多様性

に注目して——

岸根麗香

『我身にたどる姫君』論

古田真由

近世後期上方の待遇表現について

青地溪沖

石川雅望研究——『飛騨匠物語』を通して——

上野将太郎

『修紫田舎源氏』と柳亭種彦の作家性

紀伊光太郎

『男色子鑑』の創作姿勢——『男色大鑑』との比較を中心に——

小池千恵里

『狗張子』考——『伽婢子』との比較を通して——

鈴木雛子

井関隆子『天保日記』について

西山桜

仮名草子作家・如儡子の百人一首注釈について

原田ゆい

小枝繁の読本について

福田泰樹

『西山物語』と綾足の国学観

渡邊竜哉

修士

『平家物語論』——語り手の標語から読む——高木一希

『住吉物語』論——継子譚の光と影——土屋萌子

『松浦宮物語』の唐土描写について——漢籍の利用を中心に——白璐

『長恨歌抄』の研究——清原宣賢自筆本を中心として——

平尾晃代

『狭衣物語』論——人物造型の在り方とその特質——

前川暁

業平発憤説の系譜

三國恵里

▼受贈図書（二〇一七年十月～二〇一八年三月）

長崎県小値賀町敷路木島方言集・無人になった島のことばの

記録（古川初義著 前田桂子・門屋飛央監修・編集）

門屋飛央

女性・ことば・表象…ジェンダー論の地平（村里好俊編著）

熊本県立大学文学部

漱石・生誕五十年を記念して

天理大学附属天理図書館

天理図書館古典の至宝

天理大学附属天理図書館

伊勢物語のかがやき・鉄心斎文庫の世界・国文学研究資料館

特別展示(山本登朗・小林健二・小山順子・恋田知子編)

田村 隆

叡山文庫毘沙門堂蔵識語集成

叡山文庫調査会

平成簡注源氏物語 紅葉賀

並木の里の会

黒田彰蔵平仮名本三国伝記 影印篇・翻刻篇(黒田彰編)

幼学の会

養寿寺蔵和漢朗詠集聞書(湯谷祐三編)

幼学の会

安田文芸論叢・研究と資料 第三輯

安田女子大学文学部日本文学科

佐賀大学附属図書館小城鍋島文庫蔵 十帖源氏 立圃直筆書

入本【翻刻と解説】(白石良夫・中尾友香梨編 小城鍋島

文庫研究会校訂)

小城鍋島文庫研究会

〒八二二一八五八一 福岡市東区箱崎六一一九一

九州大学文学部内九州大学国語国文学会

(Tel・Fax：〇九二一六四二一三九五)

ホームページアドレス

<http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/japano/>

(研究室のアドレスも記していますので、学会関係・住所変更等の各種連絡にも御利用下さい。)

《規 定》

- 一、投稿は原則として九州大学国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に寄稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千元(各号二部配布)、通常会員二千元(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。